

**I. (日本繊維技術士センターの行事予定)**

(一社) 日本繊維技術士センターのホームページは、「繊維 J T C C」で検索できます。

**< J T C C 開催講座のご案内 >**

(対面講座のコロナ対策: 募集人員の制限、体温が 37.5℃以上の方は受講不可、マスク着用、手の消毒を実施)

**◆ 新: 繊維ベーシック講座: 開催のご案内 (詳細は、添付資料をご覧ください)**

(オンライン方式で開催 (Microsoft Teams を使用します))

**1. 講義内容とスケジュール**

月日	時間	テーマ	講師
11/05 (土)	9:30~11:00	I. 天然繊維に関する基礎知識	松永 伸洋
	11:10~12:40	II. 化学繊維に関する基礎知識	松永 伸洋
	13:40~15:10	III. 高機能繊維に関する基礎知識	西中 久雄
	15:20~16:50	IV. 不織布に関する基礎知識	西中 久雄
11/12 (土)	9:30~11:00	V. 糸に関する基礎知識	澤田 晴稔
	11:10~12:40	VI. 織物に関する基礎知識	佐藤 忠義
	13:40~15:10	VII. 編物に関する基礎知識	松川 源栄
	15:20~16:50	VIII. 布地の性質に関する基礎知識	清嶋 展弘
11/19 (土)	9:30~11:00	IX. 染色加工に関する基礎知識	津田 真
	11:10~12:40	X. 機能性加工に関する基礎知識	津田 真
	13:40~15:10	XI. アパレルに関する基礎知識	吉仲 健一
	15:20~16:50	XII. スポーツに関する基礎知識	荻野 毅

2. 講義… オンラインで行います。

3. 受講料と定員… ￥29,000 50名

4. 申込み方法… JTCC ホームページ: <https://jtcc.or.jp/> から、または添付資料の申込み書に記入し JTCC 本部宛 FAX 或は、E-mail でお申し込み下さい。FAX: 06-6484-6575  
E-mail: [jtcc-ed-os@mbr.nifty.com](mailto:jtcc-ed-os@mbr.nifty.com) <申し込み期限: 2022年10月28日(金)>

**◆ JTCC「公開講演会」**

(詳細、参加申し込みは J T C C ホームページをご覧ください。)

名称	内容(講師)	日時	会場
第90回 (繊維技術) JTCC 主催	講演1. 「縫製工場におけるスマートファクトリー -リアルタイムでの生産ラインの見える化-」 JUKI販売(株) 修理翔太氏	12月10日 (土)	オンライン
	講演2. 「透湿防水について」 JTCC 会員 (元東レコーテックス(株)) 上本雅則氏		

公開講演会の参加費(税込み): 2000円 オンラインの場合「資料のみ」の参加は不可です。

# 日精株式会社



## 商社+メーカー+グローバルの日精

優れた製品を生み出す素材への探求から付加価値創造を担う加工まで



日精株式会社

〒530-0011 大阪市北区大深町3番1号  
グランフロント大阪タワーB 12階  
TEL:06-6485-3771 <http://www.nissei-net.co.jp>



## II. (業界ニュース)

### 1. 経済産業省(生活製品課)

「次代を担う繊維産業企業 100 選」の募集を開始します！

#### 「次代を担う繊維産業企業 100 選」の概要

繊維産業において、優れた技術を持った企業や、優れた取組をしている企業を広く周知することで、社会的認知度の向上と、優れた取組の業界への横展開を図るとともに、選定事業者のビジネスチャンス拡大を目指すことを目的として、「次代を担う繊維産業企業 100 選」を選定します。2022 年度の募集を 10 月 17 日～11 月 30 日まで実施しています。

#### 選定企業について

「繊維ビジョン」で掲げる、5 つの分野に関する、優れた技術力を持つ企業や、優れた取組をしている繊維産業企業を「次代を担う繊維産業企業 100 選」として公表します。中堅・中小企業を対象とし、いずれかまたは複数分野への応募が可能です。

- ① サステナビリティ
- ② デジタル化
- ③ 技術力やデザイン力による付加価値の創出(古い織機で高度な技術の付加価値など)
- ④ 新規性のある事業・サービスの展開
- ⑤ 海外展開

#### 募集等スケジュール

2022年10月17日(月曜日) 応募開始  
2022年11月30日(水曜日) 応募締め切り(13時 必着)  
2022年度中 結果公表

## 2. 環境省

・新着情報なし

## 3. 日本化学繊維協会、日本綿業振興会、日本染色協会

### ●日本化学繊維協会 (詳細は化繊協会のホームページ参照してください)

プレスリリース

「内外の化繊工業の動向」 2022年上半期

2022年上半期(1~6月)は、新型コロナ禍による各種の行動制限が解除されたことで、経済再開の動きが進み、繊維/化繊産業はおおむね回復基調で推移した。その一方、ウクライナ情勢を受けた原油価格の高止まり、円安進行による粗原料価格の高騰、エネルギー・運輸コスト増、上海でのロックダウンによる中国経済の減速、半導体不足による自動車減産などの影響を受けた。こうした中、繊維需要は、末端の衣料需要は回復傾向がみられた。非衣料需要では、自動車生産の減産継続により、自動車関連の繊維需要は落ち込んだ。住宅着工や公共工事受注などはおおむね堅調に推移したことで、インテリア、産業資材関連の需要は全般的に堅調に推移した。

ホームページには国内と海外に区分して解説されています。

### ●日本綿業振興会 (詳細はホームページ参照)

・新情報なし

### ●日本染色協会 (詳細はホームページ参照)

・新情報なし

#### 4. (一社)日本衣料管理協会、(一社)繊維評価技術協議会(織技協)

##### ●(一社)日本衣料管理協会

・9月14日に2022年度TES試験の可否通知をお送りいたしました。

日本衣料管理協会創立50周年記念事業「TES品質情報展」を下記日程で開催いたします。

・10月27日(木) 東日本支部

・11月5日(土) 北陸支部

・11月11日(金) 西日本支部

詳細は、日本衣料管理協会のホームページをご覧ください。

##### ●(一社)繊維評価技術協議会(織技協)

・新着情報なし

##### ●関西ファッション連合

・新着情報なし

## 日本毛織株式会社

<http://www.nikke.co.jp>



ウールをベースに無限の可能性を信じて、ニッケのチャレンジは続く

### The Pride of NIKKE



糸から織物まで一貫生産を誇るニッケは、優れた企画力と伝統の技術力を活かし、ウールをベースに時代が求める各種素材の研究開発に取り組んでいます。In-Spiral Spin 製法による偏芯ラセン構造の糸《ニッケ Nagaragawa》、最高級のエキストラスーパーファインメリノを使用した《GOLDEN MAF》や希少なタスマニアウールをはじめ、さまざまな快適機能を付加したハイブリッドウール素材の開発など、これからもニッケのチャレンジは続きます。



ニッケ 衣料繊維事業本部  
ユニフォーム事業部  
TEL 東京 (03) 3551-1293 大阪 (06) 6205-6663  
Since 1896 Japan



### Ⅲ. (技術情報)

詳細な内容は各学会誌、月刊誌をご覧ください。

#### ◆<繊維学会誌> 2022年10月号



特集<技術賞より>

○ファインファイバーテクノロジーのスキンケア効果と新たな化粧品への応用への  
取り組み 花王株式会社 甘利奈緒美 東城武彦

1. はじめに:化粧品(ファンデーション)の基材に、繊維径が100nmの繊維を用いることで、スキンケア効果や新たな化粧品への応用ができる。
2. ファインファイバーのスキンケア効果・保湿について
3. ファインファイバーのスキンケア効果:外的ダメージからの保護について
4. メイクアップ化粧品との併用による価値創造
5. ボディメイクアップ分野での価値提案

○熱融着スパンデックス「モビロン®」の環境配慮繊維としての新たな展開

日清紡テキスタイル 瀬野重昭、前田修二、森下美由紀

1. はじめに:スパンデックス「モビロン®」の熱融着技術と、環境配慮繊維スパンデックスの技術開発を紹介する。
2. スパンデックとは
3. 化学構造並びに製造方法
4. 熱融着技術と環境配慮性
5. 環境配慮型スパンデックスの開発  
(1)バイオマススパンデックスの開発  
(2)リサイクルスパンデックスの開発
6. モビロンのバリエーション
7. 環境配慮型モビロンの温暖化ガス排出比較
8. 熱融着商品のバリエーション

○圧電抗菌繊維「PIECLEX®」の開発

(株)村田製作所 安藤正道

(株)ピエクレックス 宅美健一郎 海老名亮祐、帝人フロンティア(株) 藤堂 良

1. はじめに:「PIECLEX®」は、テキスタイルを伸縮させることによって繊維近傍に発生した電気が繊維上で菌の増殖を抑制させる
2. 「PIECLEX」原系の特徴
3. 電気力による抗菌性発現メカニズム
4. 「PIECLEX」の評価技術
5. 商品開発

<解説>

○「JIS L 1954 生地の時時的吸放出性試験方法」について

(一財)ボーケン品質評価機構 坂井史治 旭化成(株) 吉澤知佐

1. 「JIS L 1954 生地の時時的吸放出性試験方法」の開発経緯や、測定における要点等を解説する。
2. 吸湿性と吸水性の違いについて
3. 生地の水分率は相対湿度に依存する
4. 規定されている試験装置について  
(1)電子天秤 (2)恒温恒湿槽  
(3)湿度発生装置あるいは塩飽和水溶液による湿度調節装置
5. JIS L 1954 生地の時時的吸放出性試験方法の概要  
(1)適用範囲 (2)用語の定義  
(3)試験片の採取 (4)添付白布による試験精度の確認  
(5)試験手順及びその補足

<業界マイスターに学ぶ せんい産業資材の基礎知識—21、22>

○第4編 産業用途への応用

(一社)日本繊維技術士センター 村山定光

(4)電子・電気・情報用途 ②電磁波、導電材、シールド材

4.4.2.1 はじめに

(1)概要

(3)納入先(医療施設、介護施設など)

(5)関連法規

(2)不織布製品が主流に、安定生産・供給体制が課題に

(4)使い捨て製品の破棄問題、環境問題

4.4.2.2 電磁波と電磁波障害

(1)電磁波とその利用状況

(3)電磁波による電子機障害

(2)電磁波の生体への影響

(4)電磁波障害対策

4.4.2.3 導電性材料

(1)導電性材料とは

(2)金属以外の導電性材料

① 導電性繊維

③ 導電性プラスチック

②めっき法による導電性付与

④その他の導電性材料

4.4.2.4 電磁波シールド対策

(1)電磁波シールドの原理

(3)電子機器の電磁波シールド部品例

(2)電磁波シールド性能の表し方

(4)電磁波シールド材の性能試験方法

○第4編 産業用途への応用

(5)スポーツ・レジャー用途

はじめに:スポーツ・レジャー用途の製品

4.5.1 マリンスポーツ

4.5.2 パラグライダー

4.5.3 キャンプ用テント

4.5.4 スポーツ用バッグ

4.5.5 スポーツ用手袋

4.5.6 ゴルフ用傘

4.5.7 スポーツ用マスク

4.5.8 人工芝

4.5.9 シャトル(羽根)

4.5.10 ガット(ストリング)

4.5.11 スポーツシューズ

4.5.12 CFRP を用いた用途

4.5.13 ウェアラブル

4.5.14 機能性ソックス

<繊維関連の美術館・博物館>

紙の博物館 ～紙の歴史をたどり、現在を知り、未来を考える～

東京都北区王子

(公財)紙の博物館

平野祐子

(一社)日本繊維技術士センター 清嶋展弘、荻野 毅

◆<繊維製品消費科学会誌> 2022年9月号



シリーズ「SDGsの17の目標に対する繊維各社の取り組み」

○ライオンのサステナビリティの取り組み

ライオン(株) 小和田みどり

シリーズ「美術館・博物館に收藏される染織品」

○大阪文化服装学院 SDGsへの取り組み

大阪文化服装学院 加藤圭太

○スピードスケートスーツについて

ミズノ(株) 辻中克弥

○エコマークを通じた環境ラベル・環境宣言の基礎と素材評価について

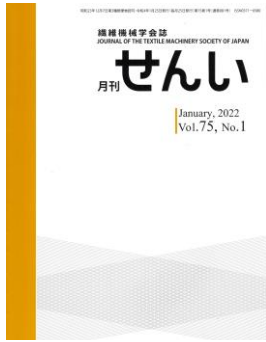
(公財)日本環境協会 佐野裕隆

○ライブコマースの現状分析 —中国のケース—

神戸学院大学 王 吉吉、辻幸恵

◆<繊維機械学会誌>

「月刊せんい」2022年9月号



○海洋で分解するプラスチック

群馬大学 鈴木美和、橘熊野、粕谷健一

(1)海洋環境中で生分解性プラスチックの分解性とこれを向上させる手法の紹介

(2)生分解プラスチックとその種類

ポリヒドロキシアルカン酸(PHA)は微生物のエネルギー貯蔵物質として生産される生分解プラスチックである。

(3)生分解性プラスチックの酵素分解性と環境分解性

生分解性プラスチックが海洋を含む自然環境中で分解されるためには、対象となる分解酵素生産微生物の存在が必要である。

(4)生分解性プラスチックの課題

生分解性プラスチックが使用中に強度低下を起こさないように、時限生分解プラスチックを実現させる。

(5)生分解性プラスチックに分解開始スイッチング機能を組み込む

(6)海洋環境におけるプラスティスフィア(生物群集)制御による生分解プラスチック分解速度制御

海洋環境中の生分解性プラスチック表面にプラスティスフィアが形成される。その分解性との相関がわかれば、生分解速度制御が可能になる。

○3Dプリンターによる複合材料形成技術

大和大学 山脇正雄

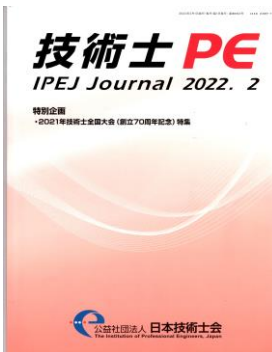
(1)CFRP用3Dプリンターの基本となる技術

材料がPLA,ABS,ナイロンからスーパーエンジニアリングプラスチックになっている。

(2)CFRP用3Dプリンタの実際と応用分野

◆<日本技術士会誌>

「技術士PE」2022年9月号



○小型モジュール炉(SMR)の開発・建設計画と国際動向

日立ニュークリア・エナジー 岩原光太郎

○技術者倫理を考える

飯田敏幸

○技術者倫理教育における技術士及び日本技術士会の役割

(株)ニコン 高橋正人

(月刊誌)

◆<加工技術>

2022年9月号

新市場創造講座 -新市場を目指した繊維生産・流通システム

この連載は、2022年8月号から2023年9月号までの連載予定です。

○繊維産業論・繊維産業の足跡(2)

(一社)日本繊維技術士センター 永安直人

6. 殖産興業と綿紡績業

7. わが国産業革命と綿業の特性

8. 時局に翻弄された化学繊維レーヨン

○ヨウ素が掘り起こすポリマーの可能性

京都大学 川口昭夫

1. はじめに:「高次構造」が秘められている潜在的機能をあぶりだすヨウ素にまつわる特異な挙動の説明

2. ポリヨウ素イオンについて

3. 親水性高分子とポリヨウ素イオン

○スポーツウェアに求められる機能性・快適性

(一社)日本繊維技術士センター 清嶋展弘

11. スポーツウェアと安全・安心

1. はじめに
2. 企業の社会的責任
3. スポーツメーカーの社会的責任
  - (1)法令の遵守
  - (2)安全に関する企業文化の確立
  - (3)安全設計の実現
  - (4)誤使用等による事故防止
  - (5)事故情報の開示

○炭素繊維コンポジットの最新技術動向 (下-2)

(一社)日本繊維技術士センター 井塚淑夫

8. CFRP の最近の用途展開

3. 自動車・鉄道車両・船舶用途

- (1)自動車の軽量化および電動化の開発プロジェクト
- (2)CFRP 部品使いの自動車の拡大
- (3)電気自動車(EV)および燃料電池車(FCV)
- (4)自動車部品開発
- (5)鉄道車両用途
- (6)船舶用途

4. 機械部品用途

○食品のメイラード反応を利用した繊維の着色技術(2)

(地独法) 大阪産業技術研究所 大江 猛

—染色堅牢度と繊維物性—

3. 染色堅ろう度と繊維物性

- (1)キシロースで着色した羊毛布の染色堅牢度では、耐光堅牢が悪い
- (2)吸湿性、吸水性、はっ水性、帯電性、機械強度
- (3)紫外線カット機能
- (4)抗菌効果

○時空繊維 屋根瓦の赤色に魅せられて

(一社)日本繊維技術士センター 八木健吉

◆<不織布情報> 2022年8月号

---

【企業特集】京阪神エリア

- アンビック株式会社
- 金井重要工業株式会社
- 三晶株式会社
- 株式会社サンツール
- 株式会社日寝
- 株式会社澤田棉行

◆<新聞、他>

日本経済新聞 2022年10月18日 朝刊

「世界の工場」分離の代償

ゼロチャイナに備える。米中対立やウクライナ危機で、世界のサプライチェーンが分断されつつある。衣料品の生産において、中国生産を切り離すことができるのか。上記の表のように、中国から約60%の衣料品が輸入されている。衣料品生産について、備えが必要かもしれない。



## 織研新聞

○2022年1月～8月の衣料品の輸入（数量:百万点、金額:億円、シェア:%、下段:前年同期比）

順位	国	ニット衣料		布帛衣料		合計			
		数量	金額	数量	金額	数量	シェア	金額	シェア
1	中国	911	5,103	501	4,499	1,412	59.4	9,602	53.9
		▲3.4	18.7	4.1	20.3				
2	ベトナム	229	1,491	99	1,362	328	13.8	2,853	16.0
		1.3	25.8	9.9	31.4				
3	バングラデシュ	141	567	53	522	194	8.2	1,089	6.1
		9.4	31.5	6.5	35.5				
4	カンボジア	94	441	45	518	139	5.8	959	5.4
		11.2	34.0	1.5	36.4				
5	インドネシア	36	253	27	311	63	2.7	564	3.2
		▲15.9	1.1	▲8.1	25.7				
6	イタリア	1.0	217	1.0	307	2	0.1	524	2.9
		1.4	13.9	▲0.8	16.3				
7	ミャンマー	53	243	49	530	102	4.3	773	4.3
		37.4	77.4	38.5	59.2				
	全世界	1,561	9,041	816	8,773	2,377	100	17,814	100
		▲0.2	21.3	5.1	24.6				

出所:日本貿易統計

「JTCCニュース」では、毎月数社の企業紹介や製品の案内をさせていただきます。

掲載をご希望の方は、[jtccnews@mbr.nifty.com](mailto:jtccnews@mbr.nifty.com) に投稿してください。（掲載料金は無料です。）

賛助法人・団体会員様の声(技術的な問題、JTCCに対する声などをメールでお聞かせください)

連絡先:[jtccnews@mbr.nifty.com](mailto:jtccnews@mbr.nifty.com)

JTCCニュース用のメールアドレスは、[jtccnews@mbr.nifty.com](mailto:jtccnews@mbr.nifty.com) です。

編集:一般社団法人 日本繊維技術士センター 企業接点強化部会 金田哲郎

一般社団法人 日本繊維技術士センター(JTCC)

本部事務所 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目4番9号 輸出繊維会館6階

☎ 06-6484-6506 FAX 06-6484-6575 E-Mail [jtcc@nifty.com](mailto:jtcc@nifty.com)

関東支部事務所 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-9(滋賀ビル506号室)

☎ 03-5643-5112 FAX 03-5614-0103 E-Mail [jtcc-kt@nifty.com](mailto:jtcc-kt@nifty.com)

東海支部事務所 〒460-0011 名古屋市中区大須1丁目35-18 一光大須ビル7階

(公財)中部科学技術センター内 ☎ 052-231-3043(代) FAX 052-204-1469